

【点検評価委員会委員からの総括的意見】

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことを受け、コロナ禍前の光景が戻ってきました。それに伴い、多くの事業で事業指標の目標を達成するなど、着実に第2次厚木市教育振興基本計画の推進が図れたと思います。

老朽化が進んだ教育施設の整備や冷暖房設備の設置等について、計画的に事業の執行がされていきました。子どもたちが安心して生活することのできる安全な学校であるために、教育環境の整備は必要不可欠ですので、引き続き、計画的な事業執行をお願いします。

そして、グローバル教育やカーボンニュートラル教育など、世界に目を向けた教育を推進していることは喜ばしいことです。厚木の子どもたちが世界にはばたくための教育を今後、より一層充実させていただくことを期待します。

また、依然として続く原油価格・物価高騰により、保護者の経済的負担が今後も増加することが見込まれます。現在も、学校現場における保護者の負担軽減等に取り組まれています。引き続き対応が必要となる課題だと思っておりますので、予算を効果的に活用するなど、保護者の経済的負担の軽減等に積極的に取り組んでいただきたいです。

委員からは、いくつかの事業について、人材の確保、教職員の負担軽減、事業の周知及び事業に対する適切な事業指標の設定などが課題として挙げられました。

これらの課題を着実に解決することが、子どもたちの健やかな未来を育むとともに、一人一人の活躍につながると考えますので、事業の点検・見直しを行い、一層有効な事業へと改善していただくことを期待します。

なお、各事業における事業指標の目標に対する達成状況が低いものがありました。こうした事業については原因や課題をしっかりと分析し、事業目的や成果等を総合的に勘案しながら、事業内容の見直しや工夫を図った上で、積極的に事業を展開していただきたいです。

未来を担う子どもたちにより良い教育環境を整備していくために、家庭・地域・学校が一体となって取組を進められるよう、各事業の充実に、より一層取り組んでいただくことを期待します。